

平成29年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	高台移転が進んでいる。
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	漁協が被災したが、回復した。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	私のいた仮設住宅は90世帯だったが、10月で7世帯が残るのみだ。残った方々の中にも住宅を再建中の方もあり、住環境は回復していると思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防集は大分進み、災害公営住宅も間もなく完了。生活は殆どの世帯で震災前に戻っている。ただ、時間の経過とともに借金返済が重くのかかってくるのではないかと心配だ。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	漁業及び農業は震災前に戻った。建設業がけん引し、仕事はあり、収入も向上した。
回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	大船渡市では小学校や、中学校の校庭に建てていた仮設住宅も集約や移転退去によりすべてが撤去されて、校庭が使用できるようになってきた。その反面、既存の被災した集落では、公民館の能力によって、復興が進んでいるところと、そうでないところの格差が広がってきている。例えば、公民館の再建や、お祭りに使用する山車、衣装、小道具の準備等。そろそろ、各種助成金などが打ち切られている中、全く何の手立ても講じていない集落もある。住んでいた住民が被災移転して集落の構成員が減少している中で、新たに住民だけの力で再建しようとしても金銭的に及ばないと思う。行政が主導して遅れている集落の手助けが必要だと考える。
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	仮設がなくなりつつあり、各個人の生活が安定していると感じる。
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	復興道路工事等を含め、具体的な生活環境の改善は進んでいる。
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	日常の生活に戻った。
回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	仮設住宅はほとんど空部屋となってきている。災害公営住宅などへ移り、これまで「とりあえず」で、その時にあった仕事に就いていた方も、将来を見据えた仕事探しを始めている。
回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	高台の造成工事也大分進んだ。それにより、仮設住宅を出て新築を建てたり、公営住宅に住む人がかなり増えた様子。
回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	仮設住宅の撤去が行われた所もあり、災害公営住宅に明かりがついているのを見ると回復していると感じる。
回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	校庭にあった仮設住宅の撤去作業が始まり、住宅再建もかなり進んでいる。
回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	日常の生活が不自由なく送れるようにはなっていると思う。更に8月の台風10号による被災者の方々の努力を考えると、当時のことを思い出すと共に、がんばっていたきたいと心から願うばかりだ。
回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	高台団地の災害公営住宅への入居は終了し、また、自力再建の住宅の工事もほぼ終わろうとしている。学校のグラウンドにあった仮設住宅の取り壊しが進んでいる。
回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	災害公営住宅もでき、家も建て直され、被災者の生活が落ち着いたように感じる。
回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	ここ半年の間で、私事だが実家が完成し、仮設から引越しをしてようやく新しい家での生活に慣れてきた。その他にも私の実家のあたりにいた近所の方も、家を建てたくさん引越し、仮設に残っている方は数えるほどになった。高台には新しい家が多く建設されている。商店も少しずつできてきている様子。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	住環境の再建は、ほぼ終了したが、高齢化のため生活水準が回復したとは思えない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	公営住宅の完成、自立再建と、ハード面的には十分回復したと思うが、まだ仮設住宅に住み、今後の方向が決められずに困っている方がいるようだ。ソフト面的な支援が必要ではないか。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	住宅再建・公営住宅に移った方については、落ち着いた生活を送っているように見える。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	住環境の再建に関しては、現在、田老地区内の仮設住宅に入居している世帯は、約50世帯と聞いており、ピーク時の1割まで減少したことで、数字の上からは住まいの確保や再建が進み、被災者の住居の基盤の一つがやや回復したと思う。一方、雇用の創出に関しては、被災した企業の中で比較的、従業員の多かったところが地区外に移転し、戻ってきていることと新たな企業の進出は一企業に留まっており、厳しい状況は改善されていない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	市内に公営住宅の建設も進み、仮設住宅から転居が進んでいる。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	・災害公営住宅への転居が大分進んでいる。当仮設住宅でも空室が多くなった。 ・土地のかさ上げが広範囲になってきた。 ・飲食店が旧中心市街地に移転し始めた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	前回と同じく、「やや回復した。」に○をつけたが、当地区の高台移転地がまだ流動的である。巨大怪物ベルトコンベアが解体され、県営アパート・町営アパートが完成した。11・12月にかけて、転居者が増えたこと、喜ばしいことである。当該団地（関谷担い手仮設団地）は、当初80世帯178人でスタートした。29年1月現在は、43世帯に激減した。高台移転地を待ち望んでいる世帯が多く残った。防潮堤や箱物の工事が目立ってはいるが、生活の基盤である住環境の確保が急務である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	織笠地区の高台、区画整理の造成工事は終了した。高台の一部と区画整理(埋め立て)地区は、新築が続いている。住む所が決まり、織笠地区の皆さん、落ち着いてきたように見える。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	高台などへ、家を再建されているのが以前より多いと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	復興アパートに引越しが進んでいるし、土地のある人は建てる準備をしている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	復興住宅に入居し、又安全な場所に住宅を建て店舗を持ち、一日一日が確かな暮らしとなっている。その反面、まだまだ仮設店舗で営業をしている方々が多くいる。元地の高上げが終わるのを待っているためだ。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	高台の造成地が完成してきて、住宅を建設する方が目に見えて増えた。同じ仮設の方にも、既に新居に引っ越した人もいる。月に1～2世帯が転居している。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	昨年秋頃から高台移転があったり、公営住宅団地への移転が多く見られるようになり、ピッチが上がってきたと感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	災害公営住宅がすべて建ち、仮設住宅の撤去も進んでいる。安心して元気に生活していくために、新しい環境における地域コミュニティの形成支援がますます必要になってきた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	津波浸水地区では、まだ住宅の再建は進んではいないが、高台には住宅が増え、公営住宅への入居も進んできている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	女	災害公営住宅での生活も大分慣れてきた様子だ。高台団地も随分住宅建設が進んで、街らしくなってきたと思う。ただ、集う場は少ない。これからはコミュニティ作りが最大の課題と感じている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	土地の区画整理が進み、高台移転も増え、景色が変わってきたのを見ると、進んできた実感できる。人口減少や若者の減少に取り組んでもらいたい。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	宅地の引き渡しが進み、住宅再建工事があちこちで見られる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	野田村の公営住宅。宇部川地区ほ場整備事業。復興道路(高速道路)。久喜浜地区、野田村前浜地区の防潮堤。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	住宅再建が残すところ2軒になった。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	防潮堤工事、かさ上げ工事は完成に近づいている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	高台への移転も進み、村中心部でも仮設店舗で営業していた飲食店が再建し新店舗での営業を始められるようになった。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	①雇用関係は、復興工事の影響もあり慢性的な人手不足となっており、仕事には困らない情勢となっているが、工事終了の後、地元経済を支える産業の復活が完全ではない。 ②台風10号の影響もあり、仮設住宅が撤去されていない。次世代を育む意味でも公園や校庭から撤去してもらいたい。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	私の地域の防災集団移転地の工事が11月上旬に終わった。早速数件が地鎮祭を行った。仮設住まいの人達にとっては待ち遠しかったと思う。住宅建築が遅れたことで、資材等が値上がりして坪単価70万円から80万円とか。災害公営住宅に入居する人、住宅を新築する人、いずれにしても住環境は整ってきた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	・高速道やや進んでいる。 ・湾港、防潮堤まだまだ。 ・仮設住宅進んでいない。(現状が多い。)
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	高台の住宅地完成、それに伴う自宅再建や災害公営住宅の完成があり、以前の平和な生活を取り戻しているように思う。しかし、地区の少子高齢化が進んでおり、今後の人口減少が心配である。(特に、地域活動や消防団活動等)
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	計画どおりとなっていないものもあるが、市民生活については、復興住宅の完成が相次ぐ等通常の生活に戻っているように感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	自力再建や公営住宅に入居している人が増えている。私の家も2月までには完成する予定！住宅ローンを払っていきけるかだけ不安。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・復興公営住宅、高台移転の入居が少しずつ進んでいる。 ・造成地等も完成しつつある。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	高台の整備も終わり、住宅が再建されてきている。仮設からも、人が少なくなってきた。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	高台への住宅再建が進み、市内で最後になる災害公営住宅も間もなく完成する予定。ただ市内の仮設住宅から、住宅再建について、まだ決めかねている人がいることや、小学校の校庭にある仮設住宅について、いつ校庭が元に戻るのかははっきりしないので、進んでいるようで、目に見えて変わったように見えない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	高台に住宅が建設され、生活感が見える。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	高台への集団移転等での自宅再建や、公営住宅への入居が進んでいる。仮設住宅からの転居が進んだことで、学校校庭から仮設住宅が撤去され、震災前の環境に戻ってきている。復興工事が減少していくと、その仕事に従事している人たちの雇用継続が難しくなるのではないかと心配である。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	住宅再建が進んでいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	被災した親戚も復興住宅に入り、仕事も再開している。ただ、以前の生活レベルとは同じではないので、気持ちの面で「もどった」と実感できないのだと思う。また、市町村によって進み具合に開きがあり、仮設住宅がすっかりなくなったところと、未だに住み続けているところがあり、これからのことを不安に思う人もいると思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	住宅地が流失した後の土地に、公園や集会場が整備されつつある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	自力再建や災害公営住宅等に入居された方が増え、生活再建に向けた条件は整った感じがする。ただし、地域の経済力がまだまだ再建途上であるため、将来の展望が描ききれない。他の職種の方々と情報交換をする機会があまりないが、地域の雇用条件が他地域に比較して低いため、若年層の他地域への流出が続いており、地元では慢性的な人材不足に陥っている。若年層が地元へ定着するための政策が急務だと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	漁業関係の知人は、震災前と同じように仕事ができていると思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	新築住宅に移っている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	男	・雇用については地元企業の求人が多い。 ・住宅の建設が盛んである。 ・法の脇のかさ上げが進んだ。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	仮設住居から新居へ移る方が多くなっている。又、新居もかなり多くのものが建っている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	災害公営住宅が次々と完成し、移り住む人が増え、新しい生活が始まっている。同時に仮設住宅の集約化が始まってきており、震災前の状況に戻ってきている様子が伺える。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	復興住宅などへの入居が進んでいるように思う。小中学校にあった仮設の撤去が行われるところがある。6か月間の進捗状況ということから考えると進んでいると思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	盛土が済み、家を再建して生活ができるようになった方々が見られるようになった。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	仮設住宅の空き部屋が増えてきたと感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	仮設住宅にまだ住んでいる方もいるので、住居について回復したとは言えないところもある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	仮設住宅の撤去も進んでいるし、知人も住宅再建が進んでいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	仮設を出て、自宅再建や災害公営住宅に移った人が多数いる。慣れた仮設で見守りを受けながらギリギリで生活できている方もいるので、仮設から出して災害公営住宅に引っ越せばそれでいいというものではないと感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	この6か月間で、災害公営住宅が完成して入居される方が増え、目に見ええる場所で復興公営住宅が着工し、建設が進んでいる様子が目立ってきたと感じる。一日も早く仮設住居で生活されている方々が安心して生活できる環境を整えて欲しいと心から祈っている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	私が以前住んでいた気仙町今泉地区は、地区全体が壊滅したため、大規模な高台造成をしており、時間がかかっている。今後は今泉の高台を希望しているが、住宅を建設するにはしばらくかかりそうだ。現在住んでいる仮設住宅は、長部地区の方が多く、20軒以上あった人々はほとんど住宅を再建し引っ越した。そのため実感として、どちらとも言えない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	山田北地区の災害公営住宅が完成し、仮設住宅で暮らす人は減った。高台移転を希望する人は残っている。高台の造成工事が始まったばかりで、いつ移転できるかまだ先のようだ。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	地域の災害公営住宅に老人が固まってしまった。若い人達が計画時の希望を変えて市街地に入居した。5年も経つと、人の繋がりがよりも便利さを優先するようになった。災害公営住宅はほとんど完成し、当仮設の希望者は皆移った。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	・住環境に関しては、自宅再建し仮設を退去した世帯があったり、希望した災害公営住宅の工事が始まったり、盛り土も進み、引渡しの期日が明確になったりと出口が見えた人もいる。 ・冬になり、光熱費について話題になる。特に「ガス代が高い」が多く、入浴を3日に1回にしたり、蛇口の温度を下げたりと節約している。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	私共の仮設住宅は、私を含めて2世帯が残るのみとなったので、被災者の生活が回復に向かっているのは確かかと…。ただ、災害公営住宅に移られた方々では、仮設に住んでいた時よりも外出しなくなった方が多い。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	特に変化があったとは思えない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	女	高台に住宅を新築して住んでいる人が多いが、仮設に住んでいる人もまだいる。経済的な理由で、仮設を出られない人がいる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	最近自宅再建される方が、増えてきた。その反面、一向に再建できず、まだまだ仮設住まいの地区もある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	・まだ仮設住宅があるが、集約されたり、宅地になったりと進んではいると思う。 ・復興住宅も建ったが、その周りは何もない状況で引越しても便が悪いと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	被災前と比べて回復したと実感できるまでいっていないと思う。漁業に関しては、何か仕事がかじまりとまとまってしまったように思う。サケの不漁やアワビの価格の低迷など収入も不安定だ。高齢化も進み、将来にあまり希望が持てないように思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	被災者の皆さん高台移転し新築され、住居は完成し落ち着き、仕事の方も頑張っている。しかし、28年度は浜の漁の方が不漁に終わったようだ。大変な様子だ。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	自治体や民間の取組みにより、震災後の復興は各分野で確実に進んでいるものと思うが、一方で、28年8月の台風10号による被災が甚大で、震災と二重に被害を受けた方々も多く見受けられ、ここ最近の進捗状況とすれば、後退した面もあったと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・中心市街地復旧工事が進み、一部の宅地引渡しを実施されたことから、自宅再建をする方が出てきた。一方、海岸地域の復旧工事は遅れており、自宅再建の意思があるものの、いつ建てられるかははっきりしていない方がいる。 ・被災者の生活という観点からは、復興関連業種の方は被災前より向上していると感じるが、その他業種の方は未だ仮設での営業・生活となっており、進んでいないと感じる。 ・新校舎完成により小中学生の学習生活環境は完全に復旧したと感じる。通学手段を自家用車等に頼ることなく充実させていくことが課題。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	仮設住宅であちらこちらに空室が増えたという声を聞くようになり、災害公営住宅や民間アパート、個別住宅へと移った方々も増えてきているという面では、進んできたのだと思うが、一部の面的なスペース（高台部分）、面と面を結ぶ道路等がまだまだ工事が進んでいないため、生活には不便さが大きく有る。（ガソリンや買い物等、遠方まで移動しなくてはならない。）経済的にも高コストである。最近では復興需要も落ち着き始め、雇用も不安視する人も出始めていると聞く。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	災害公営住宅の完成によって、仮設住宅から公営住宅に引越が進んだが、盛土の方の土地は引渡しもまだで、進んでいない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	自分の身の回りに被災した方がほとんどおらず、よく分からない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳代	沿岸北部	男	まだ仮設住宅に入居している世帯があるが、その数も減ってきている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	高台に住宅を再建している。その数も日々増えているように感じる。反面、未だに校庭に仮設住宅が残っている。集約される仮設もあるが、まだ数は少ない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	半年前に比べ、住宅の再建が進んできているが、まだまだ多くの方が仮設住宅に暮らしている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	外側から見える回復（住居）は、進んでいるように見えるが、生活が被災前と比べてどうなのかは、どちらとも言えない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	市内全域に災害公営住宅の建設、入居の動きが見られるものの、土地区画整理事業が思いのほか時間がかかっており、まだまだ先の見通しや町の復興のイメージが具体的に見えてこない。そのため、自力再建についてもローンの長期支払い等において不安もある。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	住居地及び勤務地周辺の仮設の状況に変化がみられない。仮設に住んでいる方の現状に見通しがみえていない。高速道路やWCRラグビースタジアムといった華々しいものは急ピッチで工事が進んでいるが、一般の人にはあまり関係も関心もなく、どこか他人事になっている。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	盛り土をしているだけで、特に大きな変化はないと感じる。
回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	住環境となると、もうちょっとで丸6年間の仮設住宅だ。ありがたいが、復興地も今も完成年度がはっきりしていない。仮換地等は決まったのだが、予定地は今もダンプが動いているので、29年度で完成となるのかと思っている。行政の方から、はっきりした情報が欲しい。
分からない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	岩泉町は台風10号被害もあり、東日本大震災の被害から復活してきたところでの打撃となり、生活の回復度は悪化しているように感じるが、新たな災害発生が原因ということで、評価は「分からない」とした。

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	農業及び水産業に関しては、基盤整備はほとんど完了し、生産体制に入っている。農業に関しては、震災以前は個々の農家が耕作していたが、震災後は担い手の数名に耕作委譲し、本格生産になっている。水産業については、国が支援してきたがんばる漁業制度の下に生産が進められてきた。がんばる支援事業もほとんどこの3月末で終了する。この5年は国からの人件費及び管理費等で収入支援を受けてきた。4月以降は震災前に戻り、個々の業者の生産意欲が向上すると思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	全ての業種で回復しているように思う。ただ、復興景気が終わって、後がどうなるのか懸念される。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	漁業・農業・建設業及び関連業種が回復し、経済の活性化を感じる。
回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	過剰ともいえる助成金で水産業はインフラの整備を押し進めてきたおかげで、復興が進んでいるが、サンマやサケ、イカなどの主要魚種の不漁、人手不足、製品価格の下落により、かなり厳しい状況になっている。今後は経営安定化のために税金を投入しても先行きは明るくないと思う。被災地沿岸の主要産業である水産業が落ち込むと、地域の復興の妨げに繋がることから、規模の縮小や、経営改善、統合など助成金を受けた水産業者に対して行政の指導、アドバイスが早急に必要だと考える。
回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	地域経済は震災前と比べて、変わらないくらい良くなったと思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	被災前とほぼ同じ仕事ができている。
回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	長期に渉る多方面からの支援に感謝する。周囲の経済の回復も順調であると感じる。
回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	水産業は回復していると思う。年一回のホタテ祭りは、とても盛況でたくさんのお客様でいっぱいだった。農業も作物が以前のように作られていると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	震災の影響から回復してこれからという時に、台風10号により、また震災前と同じになった設備がある。支援が必要ではないか？
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	良いか、悪いかは別として、漁業の後継者の激減は、磯漁や浅海養殖業者の収入を増やしているようである。しかし、定置漁業等によるサケ漁が振るわないでいる。基幹産業のイカ釣り漁業が不振である。温暖化現象の影響であろうか、漁が特に多いわけではないが、見慣れない西日本の魚が水揚げされるようになった。商工業にあっては、昨年11月にオープンした「オール商店街」の完成は、商店街の活気が目に見えてきて、発展の兆しを窺わせているようである。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	漁業の生産体制の基盤整備は進み、又商店街もでき、地域経済は回復できたと感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	・今年はサケ等不漁だったが、漁業従事者は仕事が軌道に乗っていると思う。 ・農業については、被災した田畑等は整備された。担い手の方々により、農作業は行われている。（高齢者が多い。）
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	水産業の方々も元通りの営業に戻ったかに思われたが、この8月の沿岸地方を襲った台風でまた甚大な被害を受けた。大きな震災をくぐり抜けてきた強靱な精神力で立ち直り、今一生懸命に毎日の仕事をこなしている。私は頭の下がる思いで見ている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	相変わらず特定の業種が好調に思えるが、全体的に見るとよく分からないし、今好調の業種が今後も維持できるかどうか不明。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	経済の動きが少しずつ活発になってきたように感じる。気運の高まりにつながればいいなと思っている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	落ち着いてきているようだが、やはり目立つのは大企業系の店舗、コンビニ等であり、地元の商店はこれからか・・・
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	地域経済は回復していると思う。人口減少・若年者の減少という点において、何か対策をたてないと歯止めがきかない事に不安を感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	復興事業に伴い、地元で仕事ができている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	水産関係は整備が進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	多くの方々の応援もあり、養殖業もだんだん安定してきた。これからも品質向上を目指し、恩返しをするつもりで頑張っていきたいと思っている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	生き残りをかけた新規の販路を自ら開拓したり、事業内容を拡大するなど事業所の積極的な動きが見られる。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	・大船渡駅周辺のあちこちで工事の槌音がして日々変化している。 ・大船渡の11月の有効求人倍率が1.72倍と依然として高い倍率となっていて、依然として労働力の確保が課題となっている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	台風10号の被害によって、養殖施設が壊され、震災後に直した施設をまた修復中。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	いろいろな支援や補助により、生産体制は整ってきた。ただ自立に向けた生産についてはこれからだと思う。異常な天候によるものなのか、復興工事がまだ終わっていないための影響なのか、生産物によっては状況が不安定なのも事実なので、あと3年～5年くらいは何らかの支援が必要かもしれない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	町中心部にホテルや大型店ができて、少しずつ町並みが形になってきている。小売店舗は今も仮設店舗で営業しているが、移転計画が進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	水産業では、サケ・イカがあまり獲れていないとも聞くので、業種によって回復の差が出てきているのではないかと考えている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	施設等の復旧は進んでいるが、事業者や後継者不足が問題である。三陸道路も工事が進み、遠方との経済面での交流が期待できる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	男	・地元企業の求人が多い。 ・全体的には商業施設は充実してきているが、中心を離れるとそうとも言えないのではないかと。 ・台風10号の影響が大きい所がある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	仕事等、忙しく働いている方が多くなった。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	・商業スペースの確保・整備が進み、施設が次々と建設されている。 ・様々なイベントが開催され、賑わいが多く見られる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	水産業は回復してきたと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	町中の商店はまだ再建されていないが、仕事は継続して行われている様子。港も施設が造られ、産業も少しずつ元のようになりつつあると感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	殆どの所は回復しているが、田老や山田はまだまだ回復途上であると思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	コンビニの数が増え、駐車場も賑やかに見える。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	大きな企業は再建しているが、地元の商店の多くは仮設店舗である。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	震災での農林水産業の再建はほぼ完了していたが、昨年の台風10号により震災以上に農地が被害を受けた。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	・サケ等不漁で水産業に元気がないように思う。 ・台風10号の影響で市内商店街が大変だ。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	・サケが不漁につき、新巻きをして加工する業者は大変だと聞いた。 ・アワビも海に海藻が少なく数が捕れなかったと聞いた。震災後、海が変わったという方が多い。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	被災した事業所の内、本設再建を果たしたところ、再建中のところ、休業中のまま廃業に至ったところがようやく明らかになってきている。再建を果たしたところは、金融面や制度面の支援を受けた所が多く、事業再生の大きな後押しになっている。一方、経営者の高齢化や、後継者難などの震災前からの課題の解決が図られないまま休業や廃業に至った事業所も多く、全体の半数近くにのぼっている現状と併せ、人口の急速な減少（減少率30%）から地域経済の回復は見込めないのではないかと考える。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	・企業が工場を建設しても従業員がなかなか集まらないようだ。企業が稼働しても、一部稼働の工場があると聞く。 ・若くて、働く能力があるのに、遊んでいる人が多いと感じる。これをどうにかするべきと考える。（方法は思い浮かばないが・・・）
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	林業の木価は下がる一方で、山林では生活できない。共同山でも運営がやっとで、被災会員への配分もできない。工場誘致で「若者の働く場を」と思うのは当地区だけではなく、全国の田舎がそう思っているだろう。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	水産業及び付随加工業は回復安定の兆しが見られるが、一般小売業の回復度は、特定業者を除き停滞、または後退しているように感じる。特に中心市街地並びにその周辺での住民の帰郷率は、当初復興計画の50%以下であり、その状況をどうにか打破しようと町独自の助成金や大手チェーンストアの誘致などあの手この手、笛や太鼓で、Uターン、Iターンを繋ぎとめようと懸命だが、なかなか思うように捗らない現状だと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	商店などを見ても、水産関係の店は、店を閉めているのが目立つし、開いている店でも取り扱っている品が（魚など）少ない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	私自身、節約の毎日。今必要でない物は購入しないし、あまり店にも行かない。地域経済の回復は分からない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	・大手企業、スーパー等と個人商店での格差が明確であり、復興後商店街がどの程度震災前と比較して活性化するか？ ・高齢化が進み、通院、買い物に不便を感じる方も少なくないと思う。それが地元（鶴住居）地域に今後どのような影響、人口流出を生じさせるか不明点が多い。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	産業地（水産、商業）の全面完成はまだまだ先である。あと2年位かかると思う。台風での被害が少なかったこともあるが、徐々に良くなっているように見える。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	復興景気に沸いているが、恐らく一連の工事が終われば、宮古の経済はガタガタになると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	盛り土をした所に建築中の商業施設ができつつあるので、経済は回復しつつあるのだろうが、完成するのは来年度だと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	女	震災直後の景気が良かった頃よりは、今は落ち着き、観光客もあまり見えなくなった。仮設商店の経営が厳しいのではないかと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	女	まだまだ他地域からの、仕事関係の派遣の方がいるので、商業の面では本当のところ、この地域はどのくらいの元気があるか判断できない。農林水産業の面はかなり設備も整い回復していると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	地域経済は目に見えて回復したとも言えず、鈍化していると感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	工場、設備の復旧や更改は進んでいるが、販路等を含め、各企業の売上や利益状況は改善していない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	やっと整備できた養殖施設も8月の台風10号で被害を受け、復旧に対しての補助事業も予算がつかず、頓挫してしまっている状態だ。ここへ来て力尽きてしまうのではないかと不安だ。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	既に回復している。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	地域によってはまだまだ昔に戻っていない所がある。都会（他地区）に移住している。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	農漁業においては、後継者不足があり、特に沿岸地区の主要産業である水産加工において深刻な人手不足があり、希望が持てない状況である。従来からの低賃金も大きく影響しているように思う。介護福祉の職員に国が給与の補助をしているようだが、水産加工においても同様の施策（手当）が必要（？）だと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	いわゆる「復興需要」の落ち着きが見られ、多くの業種で客数減、売上減の状況が見られる。 ・また復興遅延の影響等で、沿岸部の人口減が見られ、地域経済に影響をもたらしていると考えられる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・復興関連（土木・建設等）業種は震災後、復興需要により業容拡大・体質強化している。製造業は工場再建後、地道に業績を伸ばしている。しかし、地元水産加工業は不漁の影響や従業員確保難から低迷。 ・飲食業の本設再建が少ないと感じる。中心市街地復旧が進まなければ難しくやむを得ない面もあるが、地域の将来への不安が再建に影響していると感じる。 ・各業種とも人材確保難である。公表数字以上に人口減少が進んでいるのか、キツイ仕事が避けられているのか不明。災害公営住宅入居時の家賃に影響するため収入を抑えているという話も聞く。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	今年は、サケ、アワビ、イカなど不漁で厳しいかぎりだ。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・未だ復興景気で元の経済に回復したとは見えない。 ・人手不足により、水産業の回復が遅れている。 ・台風10号による被害を受けた農家の離農が増加。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	6ヶ月ではあまり変わっていない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	復興事業が再延期される部分があり、事業の再開ができず、断念せざるを得ず、廃業する方がまたチラホラ出てきたと聞いた。明日は我が身、身につまされる思いである。消耗戦はいつまで続くのだろう。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	本設の店舗も出てきたが、仮設の店舗が多い。こちらも盛土⇒基盤整備⇒引渡しの後、本設なので時間がまだかかりそう。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	震災に関しての回復は、進んでいると思う。ただ台風10号による被災が大きく、地域経済にとってはダメージが大きかったように感じる。よって、どちらとも言えない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	もともと活気があったわけではない。更地が増えている理由は分からないが、何をもって回復を考えればよいのか。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	せっかく復興してきているところに台風10号の被害でホタテ・サケなどの漁業施設が壊れたとの情報後、復旧したと聞いていない。また、久慈地区の台風被害が甚大で深く心を痛めている。野田と久慈の経済は一体なので、久慈が復旧しないと野田もしかりである。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	東日本大震災による経済復興の点で見れば、三陸沿岸道路の建設が急ピッチで進められて、完成に伴い交通手段が大幅に改善され、これに伴う企業の誘致や雇用状況の改善及び若年層の地元定着等経済的波及効果は大きいと思う。ただし、今年8月末の台風10号による被害が甚大であり、この影響で地域経済は大幅に落ち込んでいる。津波災害は海岸部に集中したが、台風10号による被災は市中心部に集中しており、地域経済からすれば東日本大震災による被災をはるかに超えた影響がある。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	水産加工業は回復しているように見えるが、商店はほとんど仮設店舗のみである。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	人口の流出は大きい。地域経済は以前のような回復は難しいように見える。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	仮設商店の立ち退きが行われるが、どこに次の店を出せるのか決まっていなところもある。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	よく分からない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	水産業や事業所、仮設店舗や大型商業施設など様々なケースがあると思うのだが、どの面を見て被災前と比べて考えれば良いか難しくなってきた。街を歩くと活気を感じるが、景気や経済面での回復の判断材料を調べて、今後も気を付けて周囲を見ていきたいと思う。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	現在高田市では、かさ上げ地区にやっと建物が建設となった。オープンして他の建設が始まり、仮設商店の人達も集まって町並みになれば、活気が出るのではと思っている。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	かさ上げした土地で、現在複合施設の建設は着工したが、経済的なものとしてはあまり進んでいる感じはしない。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	養殖業(カキ等)で言えば、震災前の半分以下の出荷量で先行き不安。
回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	水産業の方々は、新年度からは仕事ができると思っている。28年12月で海岸工事は完成との事だ。陸の工事はただらとしか見えない。
回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	住宅の回復は感じるが、道路整備が進まないため商業系の回復を感じられない。※工事が進まないのは、資材が届かないからだ聞いた。ますます遅れるのではないかと心配になる。
回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	結局、復興のための派遣人材で成り立っていることが多く、そもそもの地元の人や地場産業としての基盤が弱い。釜石市に生活根拠を置くだけの経済の力が弱い。
回復していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	特に大きな変化は感じられない。以前と変わらない鶴住居地区だ。
分からない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	実態は悪化しているが、別の災害ということで、「分からない」。
分からない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	色々な所が災害で困っており、そちらの方に意識がいて、岩手など震災地域への経済回復はあまり期待できないのかな？と思う。(それが別に悪いというわけではない。他の熊本などにお金が落ちていき、そちらの経済が回復しているのなら。)

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	津波に対する防災設備はほぼ完成している。
達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	復興道路もだんだん工事が始まってきた。
達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	河川堤防のかさ上げのおかげで、水害によるの浸水がなかった。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	防潮堤の整備も進み、先も見えてきたようだ。かさ上げや公園整備も進み、土地区画事業地区に家も建ち始めた。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	津波被害よりも台風被害が大きいとは…。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	防潮堤や道路の工事が進んでいて変化を感じる。台風10号の被害により、川沿いの道路が壊れてしまった。震災の時の教訓が生かされたのかと疑問を感じる。（避難のあり方、また、通行止め等の情報伝達。）
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の工事は進んではいるが、完成までは時間が必要で、まだ安心とは思えない。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	港湾防波堤の修復や防潮堤の建設の進み具合から見て、大分進んでいると感じる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	私が自立再建して2年2ヶ月となる。自立再建した理由は、80才が近くなり仮設住宅での生活が耐えられなく、両石町より鶴住居町に土地があったので引越した。釜石への行き帰りに通り、進捗状況を見ているが、配付される図面を見ても状況が良くわからない。私達にも理解できるように、図面を大きめに作成してもらえると幸い。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	被災地防潮堤工事が遅々と進められている。巨大な万里の長城を思わせるようである。海の見えない防潮堤に異様さを感じる。被災地買い上げ地区は、産業関係構造物に生まれ変わろうとしている。既存の道路の殆どは埋め立てられないので、嵩上げ用地が高くなり、道路の高さは従来通りが多い。凸凹の多い街並みに変容するのだろうか。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の工事は進んでいると思う。今までの防潮堤工事と違い、スケールが大きいので、進んでいないように見えると思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤建設工事は進捗しているが完成はしていない。県道の嵩上げ工事及び取り付け道路等の工事はしているが完成していない。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	避難場所など多く見られるし、そこへの道路も整備されている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	県、町営共に災害公営住宅が完成し、仮設生活から待ちに待った住宅への入居が始まり、住民にとって希望の新しい年を迎える事ができる。自宅再建の土地も今嵩上げ工事が盛んだ。国道の工事も進み、町の形が見えてきた感じだ。災害公営住宅に入居した方等の話で、「住宅に釘は打てず、神棚を作る事ができず困っている。神様をどこに置いたら良いやら。」中には、「これなら仮設に居た方が良かった。」と、心細い事を話す女性の方もいた。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	防波堤の建設が大分進んできている感じがする。ただ、かさ上げ部分の姿がまだ見えてきていないので様子見だ。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	女	防潮堤の建設は進んでいる。気仙大橋も少しずつだが進んでいる。6年にもなるのに、進行が遅いのはなぜか、常に思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	女	道路建設も進んで、防潮堤建設も進み、随分様子も変わった。ただ、人々の防災に対する意識を、今一度しっかり持つ機会も一年に一度など必要な気がする。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	防潮堤が完成に近づいている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	女	震災から5年以上経つのに、未だに防潮堤が完成していない！
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤の建設が、順調に進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤などの工事も完成に近い。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	ほぼ完成に近い。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	目の前に防潮堤ができつつある。この防潮堤によって、普段走る県道から海が見えなくなっている。計画されている中間道ができれば、その道からは見える事になる。避難訓練への参加もなされていて、防災意識も高まっている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤の工事は、完成まではまだまだ。少しずつ進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・ハードは進んでいると見えるが、年数が経過し、ソフト面で災害を忘れているように思う。 ・地域の防災意識が薄れていっているように思う。（地震があっても避難しない人が多くなった。）
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	防潮堤の工事や、道路工事などかなり進んできたと思うが、大雨による浸水被害もあったことから、浸水対策は早く進めて欲しい。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	やっと防潮堤の整備が始まった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	津波に対する備えに関しては、進んでいるように感じる。（防潮堤、港湾防波堤等）ただ、それ以外のことについて問われても、正直よく分からない。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	防潮堤が着々と進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	地震、津波に対する整備・方策は順調に進んでいると思う。更に昨年8月の台風被害では、この地区は震災以上の被害を受けた。今後、不測の事態がいつ、いかなる時に起きたとしても、人的被害がないように、整備面だけでなく心の準備が必要だと感じる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	通勤時の通り道にある防潮堤が、着々とできつつある。
やや達成した	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	男	・津波以外でも台風による水害にも強くあるべき。 ・高浜地区の堤防。 ・山田線の門馬の事故処理を早く。 ・宮古以南の山田線の復旧。 （田老へ行く機会があり、ガイドさんの話を聞いての感想では）田老はいち早く復旧が進んだ。（道路工事をしていない！）確かに山田、大槌、宮古の畷ヶ崎等道路工事が行われている地区は多い。早く目途が立てば良いと思った。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	・防潮堤の工事が着実に進んでいると感じる。 ・三陸道の工事も、着実に進んでいるようであるが、進捗状況は遅いように感じる。工事関係の車輛は変わらず多く、危険な面はほぼ変わらない。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	三陸沿岸道路の工事の進み具合を目で感じる。開通した道路や工事によってできていく道路を見ていると、今後のまちづくりへの期待が大きくなる。また、防潮堤の建設や土地のかさ上げ工事も着々と進んでいると思う。（閉伊川沿いの台風被害を目にするたびに、自然災害の大きさをを感じる。安全なまちづくり工事が進むことを心から願っている。）
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	ようやく防潮堤や水門がつくられ始め、復旧しつつあると感じる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	道路整備、高台移転が着々と進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	防潮堤も土地のかさ上げもいぶん進んだ。しかし、その土地に再建するにはまだまだだと思ふ。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	道路整備やかさ上げ工事など着々と進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	港湾の修復や防潮堤の整備、盛土など宅地の整備、復興道路をはじめ道路の完成が目立ってきた。浸水区域を見ると不安に感じる部分もあるが、地域住民全員で新しいまちのイメージをもって、避難訓練なども充実していくことを願っている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	県では大規模な防潮堤整備を決定し、各自治体の意向の元に工事が進められ、災害に強い安全なまちづくりを目途としてきたが、整備した防潮堤の耐用年数や数十年後の継続管理を考えると疑問に思う。また、海岸線に築いた構築物が環境に影響を与えることを大変危惧している。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	安全に対する認識が欠けている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	幹線道路の工事が進まないで、取付道が進まない。防潮堤工事が目に見えてきたが、これからが複雑で日数のかかる部分。震災後もう6年。安全まであと何年？
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	・防潮堤の書面での説明はあったが、工事の進み具合は把握できない。全町対象の津波・地震の避難訓練も初めて実施され、初動対応に取り組めた。 ・河川氾濫情報も、防災ラジオ設置のおかげで、早目に得る事ができ、「避難準備情報」時に避難所に避難できた。（8月30日、9月8日）本人の意識向上が課題と思う。 ・大槌町役場前の幹線道路（長さ1.2km）は、7月に開通したが、横断歩道が1ヶ所もなく、横断時細心の注意が必要。関係機関に実情を訴えたが、横断歩道設置の予算要求もこれからということ。また、町内の復興を総合的にみでの設置になるということで、取り合ってもらえない。歩行者にやさしくない町か？と残念というか悲しい。特に役場に行く事が多いので、是非役場前だけでもと。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	工事そのものはゆっくりでも進んでいると思うが、すべての事業が完了しなければ達成したとは言えない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	ソフト事業が住民に浸透していないように見受けられる。地域住民個々の意識が高いとは言えない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	知らない間に防潮堤ができた所もあった。先日、津波注意報が出たが、早目の完成を望みたい。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	自力再建され、逆に仮設に住んでいる方が減ってきていると感じる。復興は進んでいると日々感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	着々と進んでいる様子が伺える。目に見えて形としてできていると感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	工事は確実に少しずつ進んでいると感じる。震災後6年でこの程度であるので、先はまだ長いと感じる。でき上がって全体像が見えた時、災害に強く、安全な町か否かの評価につながると考える。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	避難訓練は行われているが、休日等自宅にいる場合にのみ可能な避難だと思う。仕事中や外出時など企業への働きかけも重要だと思う。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	8月の台風10号被害等、種々別の災害による被害状況を見ると、目先だけでなく、根本的な改善策を講じる必要性を感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	高い防潮堤は造られつつあるが、何を守るものなのか不明だ。背後にあるのは少数の高台の家だけだし、高齢化で住人はどんどん減っていきそうだし、漁業も現状を維持できるのかといったところだ。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	防潮堤のかさ上げ工事が進んできた。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	台風10号により、新たな課題が見えたと感じる。沿岸のみならず山間部から見直しが必要ではないかと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	行政、地域、団体（消防）による災害に強い町づくりの集い（会議）を開催している。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・道路整備が必要である。（慢性的な渋滞が見られる。） ・護岸工事が遅延している。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	持論として海が見えなくなるような防潮堤整備に疑問を感じる。むしろ高台への避難道路整備に注力すべきと考えるが、7月に開通した中心市街地のメイン道路は思ったほど広くなく、電柱地中化も施されなかった。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	高台の整備は進んでいるが、防潮堤の整備がまだ進んでいない感じた。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	まだ湾内の防潮堤が完成していないので、安全とは言えない。一部完成し一部未完成なので、例えば今2～3mの津波が来たら、未完成の部分に集中してくると思うのでかえって危ないと思う。今現在の防災について、あまり住民に知らされていないので、情報共有が必要だと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	三陸道、防潮堤の工事は進んでいると思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤の工事が進んできた。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	災害は津波だけではない。水害は津波で被災した地域とは違うところで起きた。新潟の大火の例もある。あらゆる災害を想定し、何が起きても対処する事こそ大事。防潮堤や河川整備と同時に地域住民が防災意識を高め、維持し続けられるよう情報発信する。このソフト面がまだまだ足りないと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	津波災害に対する防潮堤のかさ上げ工事や道路工事は順調に進んでいる。一方で、今年8月末の台風10号により市中心地が甚大な被害を被った状況を見れば、地域の防災対策はこれからの感じがする。今回の水害は、高齢化とともに住民の災害に対する意識変化が顕著に表れた事例と思う。過去には水害被害があったと古老は言うが時間とともに忘れ去られ、行政としてもよもやの感じがしたものと思う。被災したことを良しとするものではないが、ソフト及びハードの点で地域全体の災害に対する対策を見直すためにはこれが好機だと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	防潮堤の工事は目に見えて進んでいると思うが、完成するまでには時間がかかりそう。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳代	沿岸北部	男	防潮堤については、時間の割に進んでいない気がする。地域における防災教育、避難訓練等の更なる充実が必要。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	台風10号被害があつて、地震・津波以外も想定して考えなければならず、新たな課題を感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	まちづくりは、相当な勢いで進んでいると感じる。しかし、元の場所を少し嵩上げした状態で、新しい家を建てている状況が多く見られ、とても災害に強いまちとは思えない。もしまた、あの大きさの津波が来た場合、その家の人はどうなるのだろうか…。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	道路の整備は進んでいる。しかし、防潮堤については、工事はまだこれからの段階である。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	道路状況は新たな環境も作られ、目に見えて進んでいる。しかし、安全なまちづくりの面では、被災前と同じ場所に住居が作られており、これでいいのだろうか。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	避難訓練を見ていると、参加状況が芳しくない。津波注意報での避難状況も地域の人々の1/3にも満たない。（避難は自己責任で、というのが私の考えだが。）防潮堤も道半ばである。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	全体像がなかなか見えない。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の整備に関しては、28年度に入り、第一線堤が着工し、目に見える形で進み始めた。また、田代川水門の工事も進行中で、早期の完成が待たれている。しかしながら、その整備速度は決して速いものではなく、防潮堤の一部が垂直なコンクリート壁となっており、その強度に不安を覚える。一方、低地から高台に避難するルートの確保が十分とはいえず、やはり見直しの必要が大いに感じている。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の工事、水門の工事等、完成まではまだ時間を要するものと思う。地域が安全と実感するのはまだ先のことだ。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	鵜住居地域では、釜石市内の中で最も人的被害が多かった。今後また襲ってくると思われる津浪の際、どこまで人的被害を抑えることができるか？ また、もう少し迅速、安全に避難可能な場所を一日も早く整備して欲しい。ハード面の復興スピードがいまひとつ！！
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	土地の嵩上げが終了したところから、徐々に建物が建築されて、賑わいを取り戻しつつあるが、新たに設置された道路が、すこぶる使い勝手が悪い。たとえば、電柱。震災の時、電柱が倒れて避難路を塞いだ事をもう忘れていない。なぜ避難路だけでもいいから、地中化しないのだろうか。国道と市道の交差点には歩道橋が設置されていて、大型車が通行できない。避難の際には間違いなく渋滞が起こる。地元に住んでいない人が、机上だけで道路を決め、一応の意見聴取で拙速な取組みを行った結果ではないか。人命を尊重した復興が必要だと考える。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	工事の方は復興半ばで業者の皆さん懸命に進めている。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・防潮堤の工事は最近始まった。完成はいつになるのやら・・・？ ・海岸道路は砂利道で震災前の道路に早く直して欲しい。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	8月の台風の被害により、津波だけではない防災対策が必要であると感じた。津波は百年に1回であるが、台風は毎年来る可能性があるため。津波の復旧工事が優先されるため、台風被害の復旧が後回しにされている所がある。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	防潮堤の工事はあまり進んでおらず、しかし、区画整理部分に商店が建設され始めた。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	工事の進み具合は、地域によってバラバラだと感じる。目に見えて進んでいる所、いつまでたっても同じ所がある。何故？ハード面の整備も大事だが、防災への意識や、高台への避難がスムーズに行える取組みがもっと必要だと思う。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	旧高田松原跡地の防潮堤は、完成となった。 先日の福島県沖の時に避難命令が出た。 「指定避難所高台の小学校体育館は、開設とはならなかった。」 「一番大変だった事は女性の方々のトイレでした。」との事。どうなのか。 市と学校と地区の代表との話しができてなかったと思う。県、また市の訓練はただのパフォーマンスと思った。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤の工事が一番遅れているように感じる。早い地区は進んでいるが、全体的にみるとまだまだである。（一度震災時の堤を壊して新たに造ることもあり。）今津波が来たら、非常に危険。（人は逃げるから良いが）新築・リフォームをして営業している店舗は被災する状況。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	工事は進んでいると思う。でも、道路の状況が悪い。迷う時もある。災害時に混雑すると思う。かさ上げの高さが、半端な気がする。津波が来たら、また同じ事になりそう。防潮堤が耐えられると思えないし、高くなったからといって、海の状況が見えないと、海の近くまで見に行く人も増え、危険な感じもする。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	・過日、津波警報が出たが、相変わらず浸水域を通らないと帰宅できない地域の方々もいるし、嵩上げ地域でも、実際は工事等も中断せざるを得ないので、津波防災としては、まだまだ未完成であろう。まだまだである。 ・中央真正面の大きな堤防の外観が目立ってきた。新年度には植樹も予定されているようであるが、早く全線がつながって欲しい。
達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	防潮堤整備中。
分からない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の一部は完成したが、全てが完成しないと意味がないと思う。それと海が見えないと逆に不安なこともあると思う。
分からない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	台風10号の発生により、災害に対する意識は変わったが、災害に強いまちづくりとなると判断に苦しむ。
分からない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	ハード面では形として表れているが、達成度としては分からないのが正直な気持である。
分からない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	鵜住居地区の海岸沿いには、防潮堤の整備が進められているが、万が一、防潮堤を越える大津波が襲来したらと考えると…防潮堤整備は正しいのか？と考える。鵜住居は、本当に居住できる街(安全なまちづくり)になるのか…と感じる。
分からない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	復興道路が一つ完成し、着々と他の道路も工事が進んでいる。だが、防潮堤の方はできているのか？最近、防潮堤がある方面へ外出していないため分からない。

【自由記載集:掲載にあたって】

- ①回答者ご本人のご了解をいただいたもののみを掲載しています。
- ②自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。)

平成29年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

平成29年2月28日
岩手県 復興局 復興推進課

〒020-8570
岩手県盛岡市内丸10-1